

アンダーカウンター式洗面器 取扱施工説明書

このたびは、アンダーカウンター式洗面器をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工前・使用前に必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい「注意」を表します。



必ず実行していただく「強制」を表します。



してはいけない「禁止」を表します。

施工上のご注意

使用上のご注意

 注意	●施工前に輸送中の破損がないか確認してください。 ●施工される際、洗面器に物をのせたり、強い衝撃(物を落とす、たたくなど)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。 ●本品と組合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓(流量調整のできる器具)を取付けた配管に設置してください。 ●施工後の確認を必ず行ってください。
	●洗面器は平らなカウンターに設置してください。破損および故障の恐れがあります。 ●カウンターの洗面器取付開口部は必ず小口仕上げを行ってください。 ●洗面器の上面、排水金具のキックボックスネジ部には必ずシリコンコーキングなどのシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水により家財に損害を与える恐れがあります。 ●排水金具の締付ナットは、陶器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

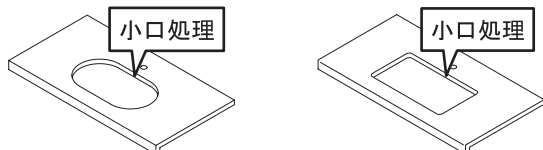
 禁止	●洗面器に熱湯や油、シンナーなどの溶剤を流さないでください。破損および故障の恐れがあります。また、漏水により家財に損害を与える恐れがあります。 ●洗面器に物をのせたり、強い衝撃(物を落とす、たたくなど)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。 ●洗面器にひびが入ったり、割れたりした場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。 ●洗面器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。
 注意	●汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。水拭きをし、こまめにお手入れをしてください。 ●金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、表面を傷めますので使用しないでください。 ●金属類(ヘアピン、カミソリの刃など)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。

取付けの前に

カウンターに指定の取付穴を開ける

洗面器を取付けるカウンターに、洗面器の仕様図面を参照して指定の取付穴を開けてください。

* 開口部は必ず小口処理を行ってください。



洗面器固定用の補強木を用意する

カウンターに洗面器を固定するための補強木(合板など)を用意します。

●固定用補強木サイズ

ラウンド(丸)用

50ミリX100ミリ 厚み24～30ミリ 4ヶ
* #DU-0466510000は厚み12～15ミリの補強木をご用意ください。

スクエア(角)用

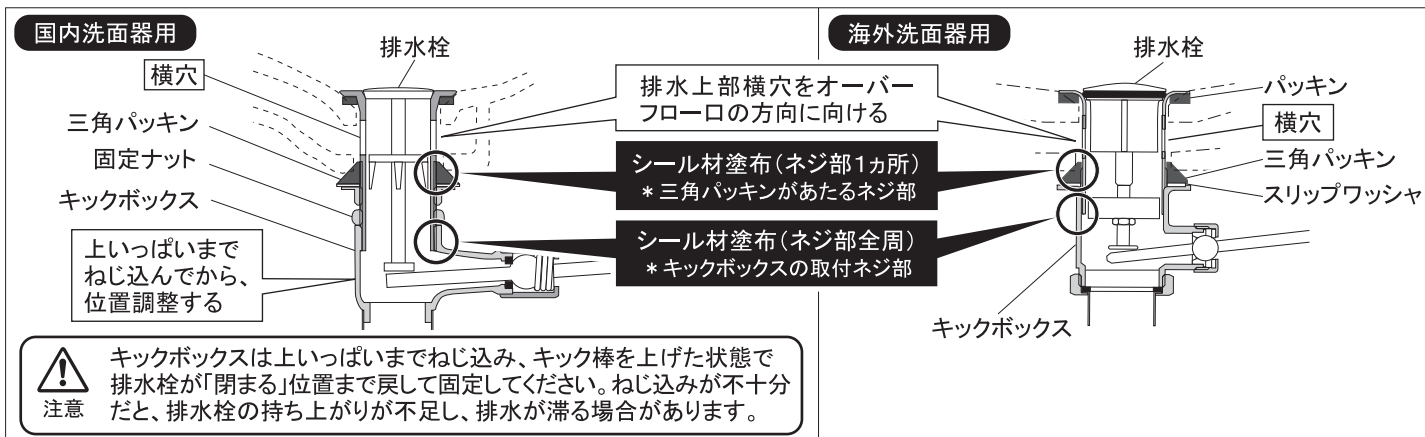
50ミリX350ミリ 厚み24～30ミリ 2ヶ



取付方法

1. 排水金具(別売)の排水上部を取付けます。

* 詳細は器具の説明書を参照してください。



注意

キックボックスは上いっぱいまでねじ込み、キック棒を上げた状態で排水栓が「閉まる」位置まで戻して固定してください。ねじ込みが不十分だと、排水栓の持ち上がりが不足し、排水が滞る場合があります。



注意

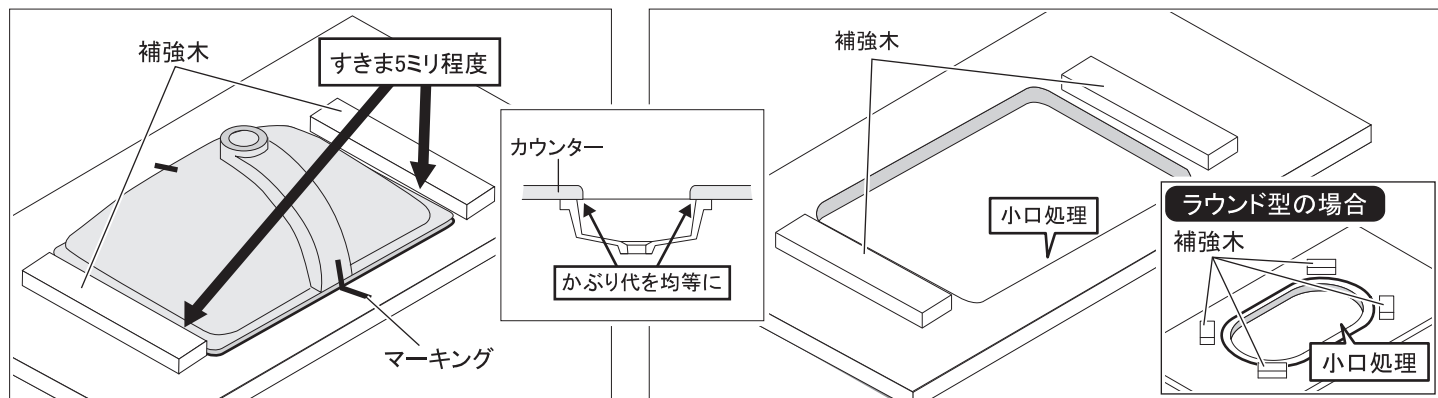
- 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置にシリコンコーキングなどのシール材を塗布してください。
- 締付ナットは、陶器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。
- 引棒は、水栓金具、給水ホース、排水管などに干渉しない位置で作動するように調整してください。

裏面へ続く➡

取付方法(つづき)

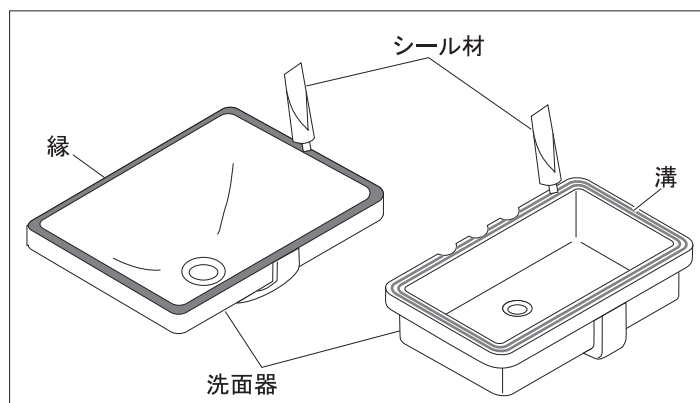
2. 洗面器を取付けます。

* カウンターを設置する前に必ず洗面器をカウンターに取付けてください。

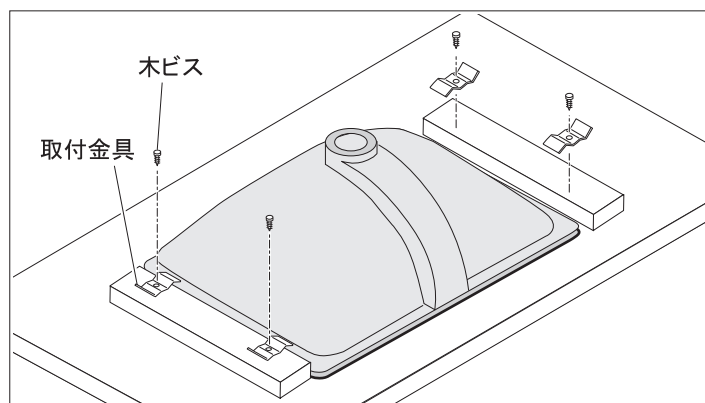


- ①洗面器と補強木を取付ける位置を決めマーキングします。
* 補強木は洗面器の外周からすきまを5ミリ程度離れた位置に取付けてください。
* かぶり代が均等になるように位置決めをしてください。

- ②補強木を接着剤などでカウンター裏にしっかり固定します。
* 接着剤が乾燥してから、次項に進んでください。



- ③洗面器の上面の溝または縁の全周にシール材を塗布します。

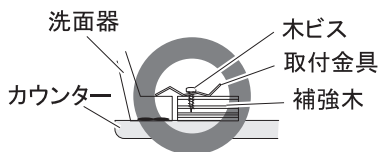


- ④洗面器を付属の取付金具とビスで仮固定し、手順①でマーキングした位置を合わせてからビスを締付けます。
* 取付金具には向きがありますので、注意してください。
⑤カウンター表面より洗面器の内側にはみ出したシール材を拭取ります。

正しい取付金具の方向

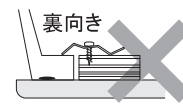
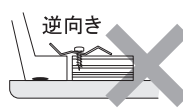


固定する前に、取付金具が右図のように正しく設置されているか確認してください。誤った方向で取付けますと、固定出来ません。



* 洗面器が支えられません。

* すきまが多くでき、木ビスのねじ込みが浅くなるため固定が不十分になります。



3. カウンターを取付け、水栓金具(別売)を取付けます。* 詳細は器具の説明書を参照してください。



施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態などでその場を離れないでください。漏水により家財などを濡らす恐れがあります。

施工後の確認

- ①洗面器の取付状態の確認
ガタツキがないか確認をします。

- ②水栓の吐水量の確認、及び調整
水栓を吐水させ適正な吐水量であるか確認をします。
* 水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。
* 吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。

- ③漏水、排水の確認
通水・排水経路の接続各部に水もれがないか確認をします。排水がスムーズに行われるか確認をします。
* 詳細は、各器具の説明書を参考にしてください。



メンテナンスなどで、止水栓を閉め、再び開く場合などには、水栓の吐水量の確認、及び調整を必ず行ってください。(施工後の確認 ②)